

コロナ禍だからこそ、今できることを！



武蔵村山市社会福祉協議会「地域福祉コーディネーター」の取り組み、支援内容をご紹介します。

社会福祉協議会×こども食堂主催「おむすび食べてコロナもコロりん」

11月1日(日)に、武蔵村山市社会福祉協議会フードバンク事業にご寄附いただいたお米を活用し、武蔵村山子ども食堂、まどか食堂、こども食堂パプリカとの共催で、おにぎり420食分を無料でお配りしました(市内4会場)。また、本会にご寄附いただいた手作りマスク180枚やたくさんのお菓子も配布しました。子どもから大人、親子参加で賑わい、盛況のうちに終了しました。多くのかたのご協力と温かい気持ちから、はじめての取り組みが実現しました。



市民総合センター



みんなのおうち



大南地区会館



まどか保育園

<協力団体>
お菓子…SAP 武蔵村山
手作りマスク…小地域福祉活動団体「えのきサロン」
「きらくクラブ」他多数
当日ボランティア…市立第三中学校茶道部(敬称略)

「こども食堂」とは、こどもがひとりでも安心して行くことができる低額の食堂で、地域交流拠点です。こども食堂の情報は、市報毎月1日号子育てコーナーに掲載されています。各団体のSNS等もご覧ください。

武蔵村山子ども食堂
Facebook



まどか食堂
Twitter



こども食堂
パプリカ

※休会中

再開しています！小地域福祉活動「絆会(大南地区)」の家庭訪問

コロナ禍以前は、家庭訪問と会食会を中心に活動していた「絆会」。コロナ禍では家庭訪問中心にシフト！10月3日(土)の活動では、地域福祉コーディネーターも10軒ほどの家庭を同行訪問し、手作りマスクの配布と地域情報をお伝えしました。「絆会」からは甘酒とゆかりをプレゼントし、体調や近況を丁寧に伺いました。



「小地域福祉活動」とは、地域の中の困ったことを素早く発見し、高齢のかた、障害のあるかた、子どもたちなどを地域ぐるみで見守り、お互いに支え合い、ふれあいに満ちた地域にしていこうとする活動です。本会では、活動費の助成、連絡会や研修会等を行い、地域の支え合いが進むよう支援しています。



小・中学校にて福祉学習

感染予防を行ない、二小エキスパートタイム「ユニバーサルデザイン」、七小5年生「手話体験」「点字体験」「車いす体験」、五中2年生「高齢者・障害者疑似体験」をお手伝いしました。

コロナ禍でも、当事者の声を伝え、理解が深まるプログラムを下記の協力団体、福祉学習サポーター8名の協力を得て実施しました。

七小5年生



二小エキスパートタイム



<協力団体>

NPO法人インクルーシブデザインネットワーク、武蔵村山市聴覚障害者協会、点字サークルきつき、武蔵村山市身体障害者福祉センター、東京武蔵村山ロータリークラブ(敬称略)



★地域福祉コーディネーターは、さまざまな団体が行う日常活動の場に足を運んでいますので、ぜひお声かけください。

★社協「フェイスブック」でも地域情報を発信中です。



地域福祉コーディネーター(いがらし・よしの) 電話 566-0061

広告内容については本会が保証するものではありません

訪問美容・在宅カット承ります！

お一人で外出が困難な方の為に福祉美容師がご自宅や施設に伺ってカット等をさせていただきます。

訪問カット ¥2,750(消費税込)

☎ 042-563-8699

美容室 くるくるへあー

東大和市奈良橋2-603-1-103
http://www.kurukuruhair.com



定木の手入れ 床組の片づけ 定木の草むしり

高齢者・身障者 1時間 900円(税別)
その他諸経費 500円

武蔵村山市三ツ藤1-49-20

打扇園 -Utsuzen- 代表 上田哲弘

☎ 042-560-4385(FAX兼)

携帯 090-3574-2641